

## 地域福祉に係るまちの将来像

## 【変更後】

## 1 地域福祉に係るまちの将来像（基本理念）

少子高齢化や家族形態の多様化や新型コロナウイルス感染症の長引く影響などにより、地域を取り巻く環境は大きな転換期にあります。

加えて、地域活動の担い手不足や近所付き合いの希薄化が進み、これまで家庭や地域で解決してきた様々な地域生活上の課題が顕在化してきています。

また、複雑化・複合化する地域福祉の課題や制度の狭間などの問題の解決するためには、支援の対象者を高齢者・障がい者・こども・性別などの属性でとらえるのではなく、市、社協、地域の活動主体が連携し、包括的な支援体制を強化することが必要です。

本市では、第1次木津川市地域福祉計画・木津川市地域福祉活動計画より基本理念として「思いやり あふれる笑顔 ひろがる輪」を掲げて、すべての人が互いを認め合い、思いやりの気持ちを持ち、支え合い、助け合うことで、誰ひとり孤立することなく、人と人・人と地域のきづなのある地域力を育み、笑顔があふれる福祉のまちづくりに取り組んできました。

本計画においても、現計画の基本理念及び取組みを継承しつつ、一人ひとりの人権の尊厳が確保され、共に生きることのできる、安心・安全に暮らすことができる“地域共生社会”的実現をめざして計画の展開を図ります。

思いやり あふれる笑顔 ひろがる輪  
～きづなを広げ共に生きる地域社会の実現をめざそう～



## 【変更前】

## 1 地域福祉に係るまちの将来像（基本理念）

福祉に関するニーズの多様化・複雑化が進むなか、高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症の長引く影響等を背景に、地域活動の担い手不足や近所付き合いの希薄化が深刻となっており、人口減少社会において地域の活力を維持するためには、人と人、人と社会のつながりや支え合いが生まれやすい環境づくりがこれまで以上に重要となっています。

本市では、第1次計画より、基本理念として「思いやり あふれる笑顔 ひろがる輪」を掲げ、思いやりの気づきや意識づくりをはじまりとして、地域の中で互いに支え、支えられ、あふれる笑顔で活動する人を育て、つなぎながら地域福祉活動の輪を広げていくことをめざしてきました。第3次計画からは、さらに「～みんなで地域共生社会をめざそう～」を副題として、多様な人々が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく“地域共生社会”的実現をめざし、様々な取組を推進しています。

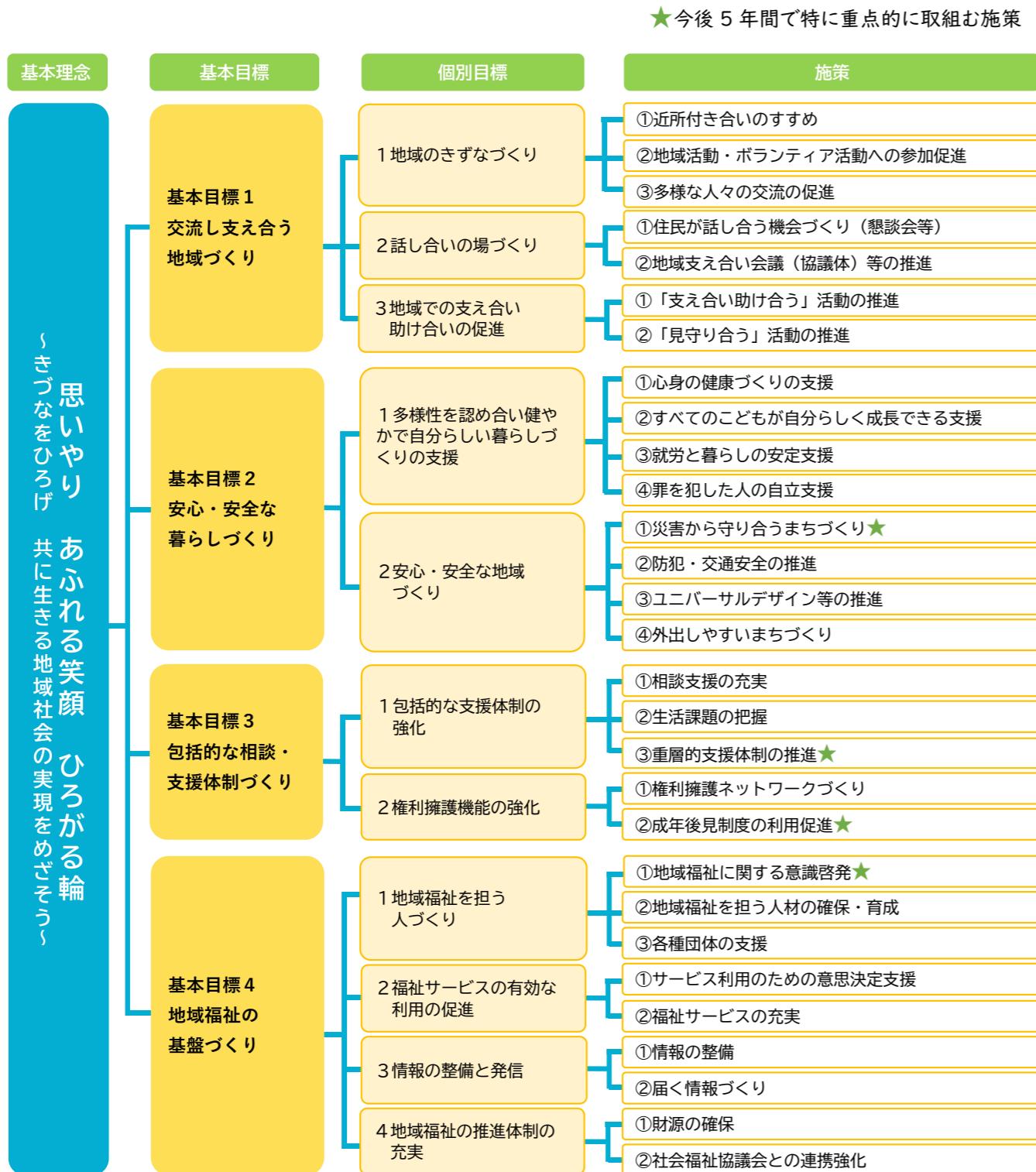
本計画においても、第3次木津川市地域福祉計画・木津川市地域福祉活動計画で掲げたこの将来像（基本理念）を継承し、地域共生社会の構築をめざすこととします。

思いやり あふれる笑顔 ひろがる輪  
～みんなで地域共生社会をめざそう～



## 施策体系

【変更後】



【変更前】

